兵庫県立農林水産技術総合センター

森林林業技術センターの概要

○森林林業技術センターは、昭和9年に兵庫県林業試験場として設置されました。
○平成7年には、県立森林・林業技術センターと改称し、林業生産に関する研究に加えて、豊かな森づくりや県産木材の利用推進に関する技術開発と普及に取り組んできました。
○平成14年に、県立の農林水産関係6研究機関を統合し、農林水産技術の開発と普及が一体となった県立農林水産技術総合センターが設置されました。
○森林林業技術センターはその一翼を担い、資源循環型林業や森林の有する多面的機能の維持・向上に向けた技術開発と普及に取り組んでいます。


森林林業技術センター

各部の概要

○森林活用部（宍粟市山崎町）

森林活用部では、森林資源を育成・保全するために、
①資源循環型林業の確立のため、シカ生息密度など環境要因にも配慮した人工林の低コスト施業体系や皆伐・再造林一貫システムの確立に取り組んでいます。
②根系の発達状況や植生の違い等に着目した森林の持つ災害防止機能の総合的・定量的機能の確立に取り組んでいます。
③林木育種・種苗、森林保護等の事業を実施し、行政の支援を行っています。
④大学・国立研究開発法人・民間企業等との共同研究、各種研修・講習会の講師等により他機関との交流と研究成果の普及に努めています。


コンテナ苗生産指導


H21年流れ木災害（朝来市）


災害緩衝林の効果検証


レーダによる樹木根探査

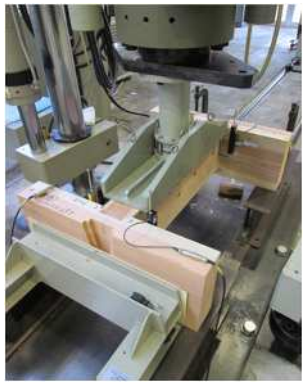
○木材活用部（宍粟市山崎町）

木材活用部では、成熟しつつある県内森林資源の有効活用を図るために、
①県産木材の品質確保、県産木材の新規用途拡大等の技術開発に取りくんでいます。
②木材産業との共同研究、木材に関する技術指導・相談を行っています。
③木材技術研修会、県産木材製品展示会等を実施しています。
④木材製品の強度、含水率等の依頼試験を実施しています。

また、林業技術の普及と担い手の育成を目指して、
①林業の担い手や県林業普及指導員に対しての技術研修を実施しています。
②森林・林業に関する試験研究成果の、現地への適応を進めています。


TAPOS（テイポス）プレカット加工を行った梁仕口（特許取得）


簡易木材強度測定装置WoodFFT実演


TAPOSの性能評価試験

○緑化センター（朝来市山東町）

緑化センターでは、県下に優良な種苗を供給するために、成長・形質のよい精英樹、少花粉のスギ・ヒノキや松くい虫に強い抵抗性アカマツ・クロマツ採種園の育成・管理を行い、種子の生産を行っています。


緑化センター

兵庫県立農林水産技術総合センター　森林林業技術センター
〒671-2515　兵庫県宍粟市山崎町五十波430
TEL0790-62-2118　FAX 0790-62-9390